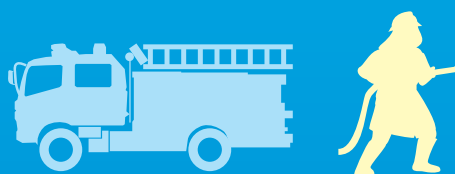
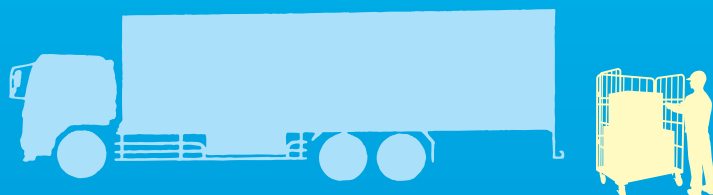


一般社団法人 日本自動車車体工業会

Japan Auto-Body Industries Association Inc.

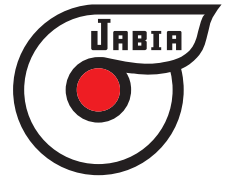




概要

当工業会はトラック・バンの荷台架装やバス車体、トレーラや各種特装車の製造会社で構成する工業会であり、その製品は多岐にわたりますが、いずれも社会生活に必要な「働くくるま」達です。

我々は車体産業の総合的な発展を図るため、本部での部会活動と委員会活動に加え、全国に支部を設置し、地域単位でも活動しています。



当工業会会章は、1954年3月に会員からの応募23点をもとに制定したもので、円形はタイヤを表し、これに羽根を配して躍進を表現しています。

名 称

一般社団法人 日本自動車車体工業会
Japan Auto-Body Industries Association Inc. (略称「JABIA」)

所在地

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館15階

目 的

我々は自動車車体製造業の総合的な発展を図り、もって日本産業界の発展に寄与するとともに、国民生活の向上に貢献していきます。

事 業

1. 会員の企業活動に有用な各種調査を実施し、情報提供する。
2. 関係官庁・諸団体との連携により地球環境の維持並びに車両の安全性向上を図る。
3. お客様の要望に応える商品作りのため、技術レベル向上を支援する。
4. 海外との交流推進し、商品並びに諸活動の国際化を図る。
5. 法令並びに社会規範遵守を最優先し、一般社団法人としての社会的責任を果たしていく。

沿 革

当工業会は、戦後の1948年4月、当時の車体工業組合を解散し、新たに「自動車車体工業会」として誕生しました。その後、1950年名称を「日本自動車車体工業会」と改め、1958年に従来の地方協会団体加入方式を全会員直接単独加入方式に変更、1970年12月に当時の通産省の許可を得て「社団法人」に改組し現在に至っています。

また、工業会活動の更なる活性化を図るため、1965年に部品関係を扱う会社にて資材部会(準会員)を設置。1991年には各地方固有課題への対応充実のため、全国各地に9支部を設置しました。2004年には、自動車関係団体の連携を深めるため、「日本自動車会館」が開設され、当工業会事務局も移転、公益法人改革法の施行に伴い2011年「一般社団法人」に移行しました。



会員と組織

会員

当工業会の会員は、正会員と準会員の295社*によって構成されており、その資格要件はそれぞれ次のとおりです。

※2019年8月現在

正会員

正会員は次の事業を営む法人

1. 自動車車体の製造、組立又は架装
2. 自動車車体の改造又は改装
3. トレーラの製造又は改造

準会員

準会員は本会の目的に賛同し、かつ、本会事業に協力する次の法人

1. 自動車車体の製造または改造等にかかわる材料または部品の製造もしくは販売
2. 自動車車体の製造または改造等に関連する製品の開発、技術指導、市場調査等
3. 正会員事業者の製品の販売、整備または修理

役員その他

■理事 25名以上40名以内 (うち会長1名、副会長3名以内、専務理事1名)

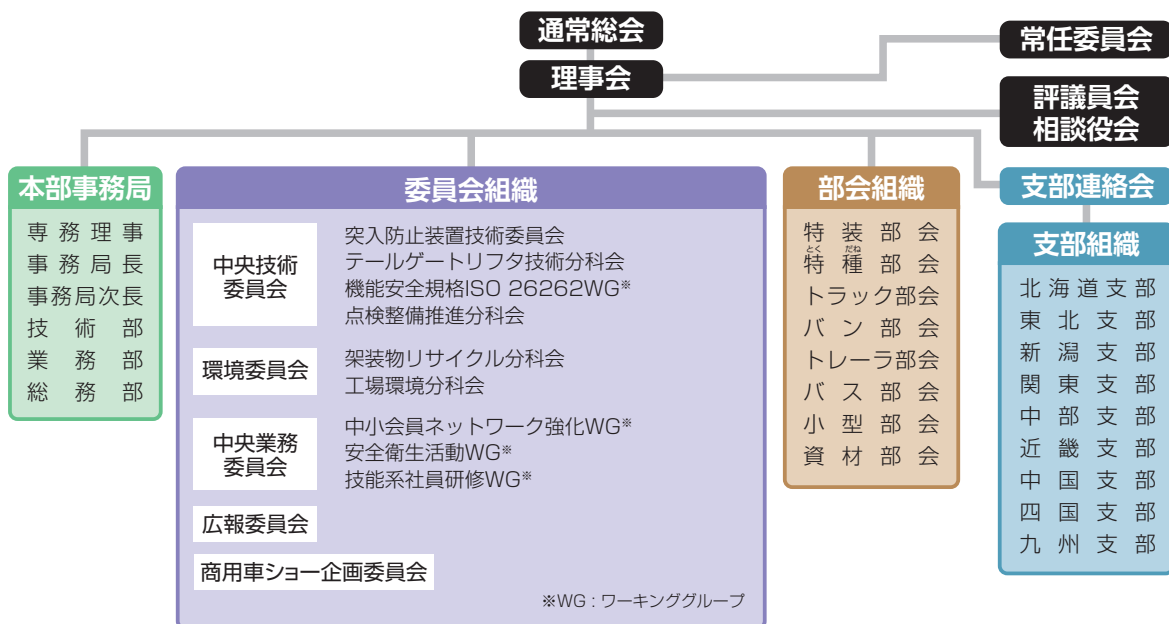
■監事 1名以上3名以内 評議員 20名以上40名以内 相談役 5名以内

組織

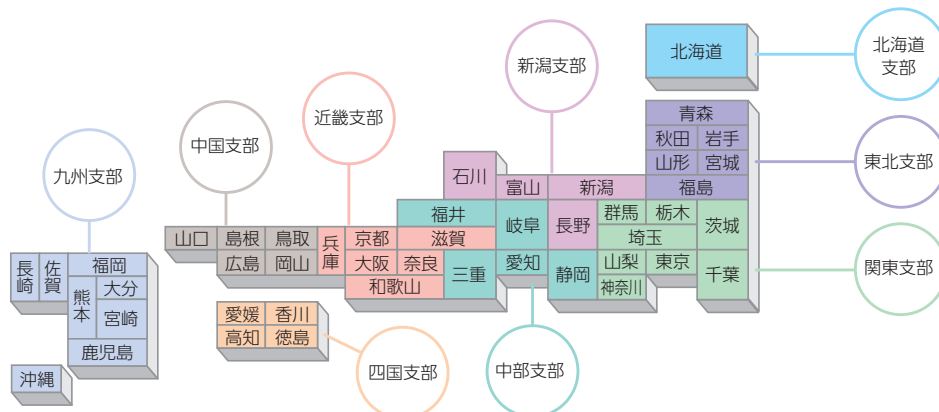
当工業会は、本部事務局、委員会組織、部会組織、支部組織から成っており、相互に密接に連携をとり運営されております。

本部事務局	本部事務局は車体工業会全般の運営実務を行っています。主要業務は、総会の決定に基づく事業計画の推進、経済産業省、国土交通省等関係官公庁対応、会員企業への各種情報提供、技術・環境・安全課題への対応等です。また、総会や理事会、特装・特種等8部会や各種委員会の事務局を担当しています。
委員会	重要課題や部会横断的課題に関しては、各部会代表者から構成される委員会組織を設けて対応しています。中央技術、環境、中央業務、広報等5委員会が設置され、必要により、傘下に分科会やワーキンググループを設けて活動しています。
部会	当工業会の取扱車種はたいへん幅広く、車種毎に課題も違うことが多いため、特装・特種・トラック・バン・トレーラ・バス・小型・資材の業種別に8部会を設置して活動しています。各部会単位でそれぞれ検討会、研修会、見学会、共同開発等を行い、品質、安全性、生産性の向上を図るほか、立法・行政への意見反映もしています。
支部	全国各地域固有の諸課題を地域単位で対応するために、北海道・東北・新潟・関東・中部・近畿・中国・四国・九州の9支部を設置しています。本部及び地域行政、関係団体と連携を図りながら、不正改造車根絶活動や回送運行許可申請手続支援などを含め、地域産業の発展に寄与しています。

組織図



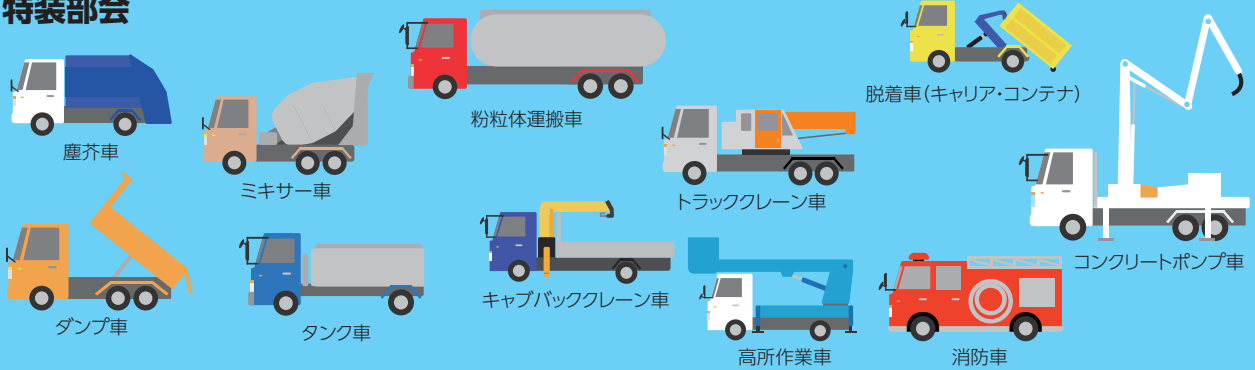
全国支部状況





会員の製品(取扱車種・車体)と部会

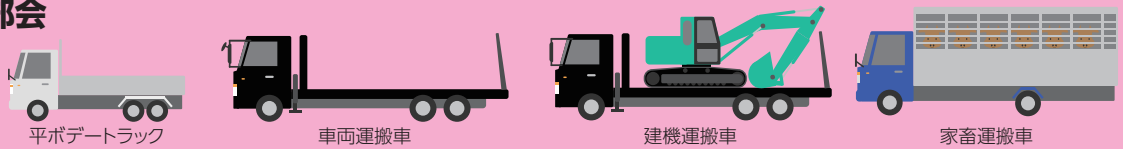
特装部会



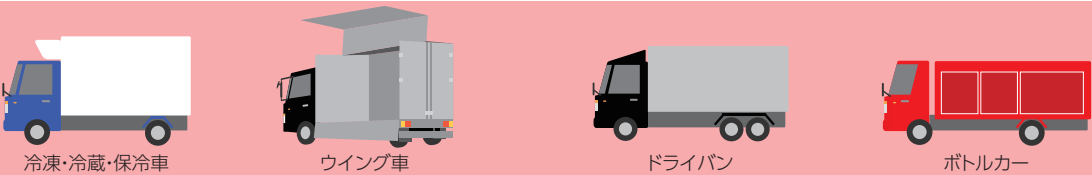
特種部会



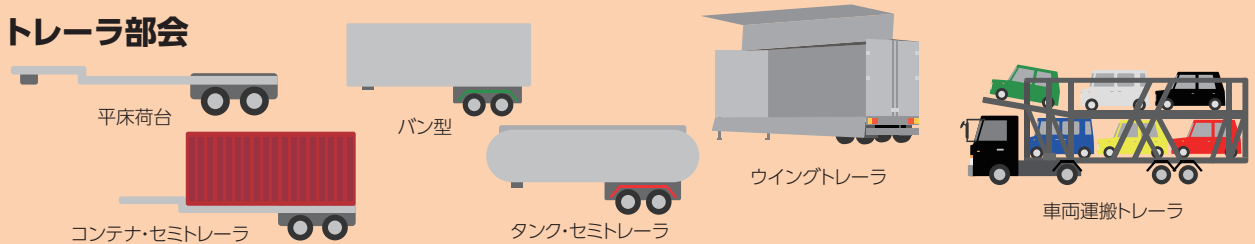
トラック部会



バン部会



トレーラ部会



バス部会



小型部会



資材部会



車体架装の部品、装置、
材料(シート、内装品、電装品、冷暖房機器、車体部品、木材、ガラス等各種材料等)



事業内容

車両安全課題への対応

- 車体関連のISO規格制定への参画
- 各種自主基準 (JABIA規格) の策定
- 各種法規への円滑な対応調整
- 不正改造根絶活動
- 保守、点検、整備の啓発活動
- 車体、難燃内装材等の自主検査の実施



技術発表会



トレーラの安全等に係る研修会

環境課題への対応

- 商用車架装物リサイクル自主取り組み推進
- 地球温暖化対策としてCO₂排出量の削減
- 産業廃棄物、VOC、環境負荷物質削減
- 環境保全に対する啓発活動



環境フォーラム

会員支援と車体産業の発展への寄与

- 中小企業経営支援活動
- コンプライアンスの徹底
- 立法、行政、関係官公庁との各種連携
- 関係諸団体との密接な連携
- 生産統計データの集計、公表
- 東京モーターショーの共催、出展
- 機関誌やホームページでの広報活動等



自動車政策懇談会





活動状況

重要課題や部会横断的課題に関しては、各部会代表者から構成される委員会組織を設けて対応しています。5つの委員会(中央技術・環境・中央業務・広報・商用車ショー企画委員会)の主な活動についてご紹介します。

中央技術委員会

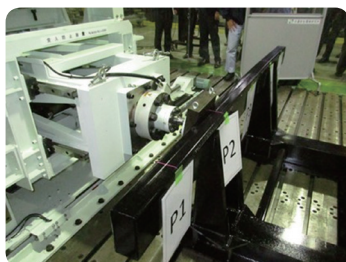
■自主基準(JABIA規格)の策定

日本自動車車体工業会の会員が取り扱う車種は、用途や仕様により様々であり、国際標準化規格(ISO)、日本工業規格(JIS)、自動車規格(JASO)にはない自動車車体に関する業界基準を定め、製品ごとの安全・安心確保に取り組んでいます。

1972年より活動を開始し、2019年3月末時点で59件保有しています。

■調査研究

法規対応、自主的共同研究等の部会共通項目への対応を推進しています。



トレーラ RUPD(後部突入防止装置)強度評価



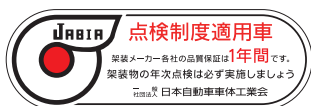
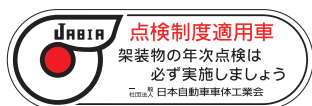
トレーラの制動横転試験

■点検整備の普及およびステッカーの設定

お客様に安全に安心して永く架装物をお使いいただくために、当工業会の共通の架装物の安全点検制度を制定し、点検整備の普及に取り組み、その証としてステッカーを設定しています。

点検制度適用車ステッカー

制度対象製品であることを示すステッカー



架装物年次点検済ステッカー

定期点検が行われたことを示すステッカー



環境委員会

商用車架装物リサイクルへの対応

- ① 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進
- ② 製造者名、使用材料名の表示
- ③ 解体マニュアルの作成・公開
- ④ 解体性向上車体の研究
- ⑤ 架装物のリサイクル・適正処理への取り組み(協力事業者制度)

環境への取り組み

生産における環境保全

- ① 省エネルギーの推進(地球温暖化対策)
 - ・電力、燃料等のエネルギー使用量低減
 - ・CO₂排出量の削減
- ② VOC(揮発性有機化合物)の排出抑制
- ③ 産業廃棄物最終処分量の低減



環境基準適合ラベル ホワイトラベル

- 3R判断基準ガイドラインの作成・活用
- 製造者名、樹脂部品材料名の表示
- 解体マニュアルの作成・公開



新環境基準適合ラベル ゴールドラベル

- + 車体製品部材のリサイクル可能率95%以上
- + 環境負荷物質自主取り組み基準の達成
- + 環境認証取得工場生産



工場環境分科会による会員支援活動

中央業務委員会

車体業界の将来像を探る検討委員会や高齢者雇用を円滑に進めるポイントの作成等、様々な中小企業支援活動を行っています。



高齢者雇用推進委員会



将来ビジョン検討委員会



管理・監督者層合同研修会



現地・現物による技能系社員研修

広報委員会

■機関誌「車体NEWS」の企画・発行

年4回(3,6,9,12月)の季刊と新春増刊号(1月)による当工業会全体情報や官公庁等外部情報の発信を行っています。



車体NEWS春夏秋冬季刊

■ホームページによるコミュニケーション

当工業会情報や官公庁等外部情報をはじめとする様々な情報を発信しています。



ホームページ

商用車ショー企画委員会

東京モーターショー等におけるイベントにて「働くくるま」をテーマとした出展や各会員会社との共催を企画・実行しています。

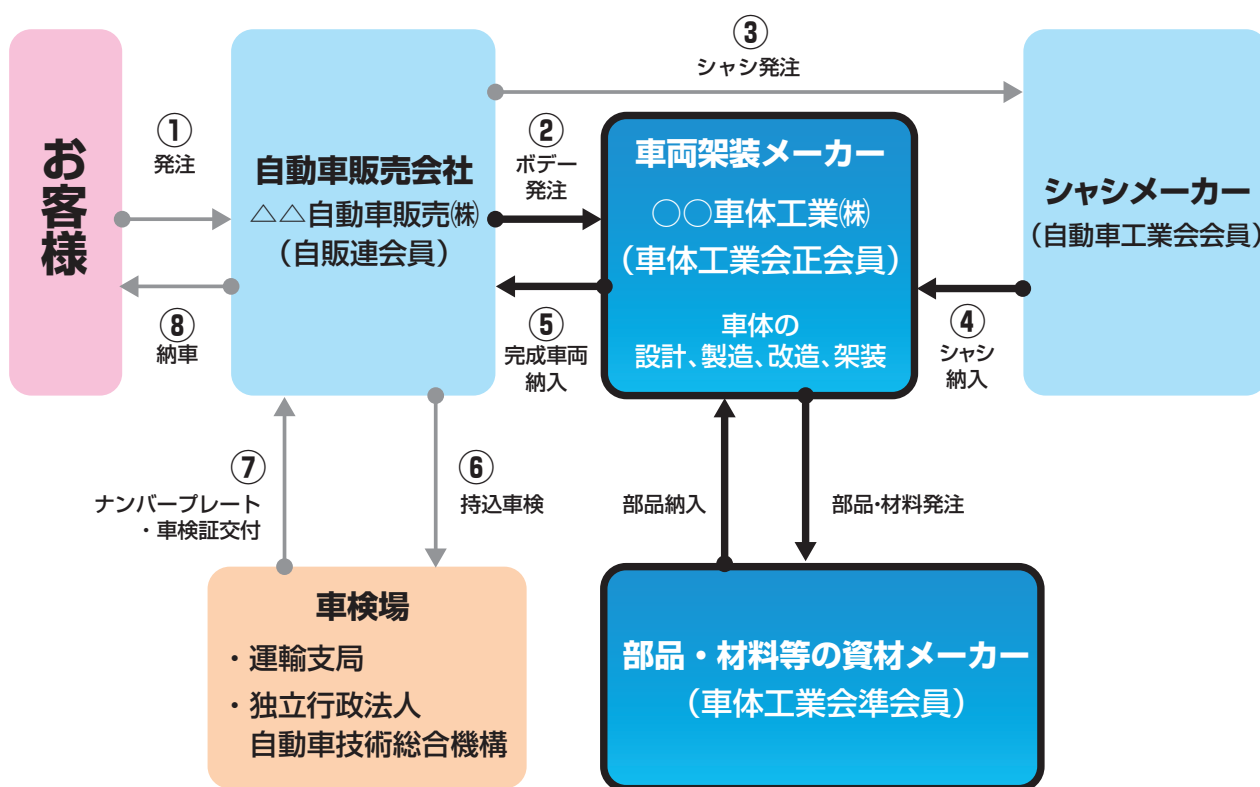


東京モーターショー2017当工業会ブース



東京モーターショー2017屋外展示

商用車の流通図(代表例)



本部事務局



一般社団法人 日本自動車車体工業会 www.jabia.or.jp



〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館15階 TEL.03-3578-1681(代表) FAX.03-3578-1684